

公開講座

食べものと放射能

—いま、食べものはどうなっているの?—

講師 **天笠啓祐** さん

食べものと放射能について、私たちは今、どのように向きあえばよいのでしょうか。また、私たちに何ができるのでしょうか。やさしい語り口とわかりやすい解説で知られる、天笠啓祐さんをお招きして、原発事故後の食の安全について考えます。

講師：天笠啓祐（あまがさけいすけ）さん

1947年、東京都生まれ。1970年、早稲田大学理工学部卒業。雑誌『技術と人間』の編集者を経て、ジャーナリストに。原子力発電、遺伝子操作食品、電磁波など、環境問題や科学技術と社会の関係について積極的な発言を続けている。市民バイオテクノロジー情報室代表、日本消費者連盟共同代表。著書に『この国のミライ図を描こう—原発とグローバリズムが無理なわけ』（現代書館）、『暴走するバイオテクノロジー』（金曜日）、『知っていますか？ 脱原発一問一答』（解放出版社）、『放射能と食品汚染：輸入食肉・輸入添加物・遺伝子組み換え…脅かされる食の安全』（芽ばえ社）、『東電の核惨事』（緑風出版）など。



●日時 **6月30日（日） 13:45～16:45**（開場 13:30）

●場所 **田無公民館 視聴覚室（3階）**
西東京市南町 5-6-11

●資料代 **100円**

●お問い合わせ先 ☎080-1029-7871（ひしかた土方）
（お電話でのご連絡は、月・水・金曜日、18:00～20:00にお願いいたします。）

※お子さま同伴でご来場いただけます。（キッズスペースをご用意しております。）

